

平成 27 年度

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書
(平成 26 年度分)

朝日町教育委員会

目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検・評価の対象事業	1
3. 点検・評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II. 平成 26 年度教育委員会活動状況	2
1. 教育委員の選任状況	2
2. 教育委員会会議開催状況	2
3. 教育委員学校訪問	5
4. 各種会議、大会、研修会等への参加	5
III. 外部評価委員の意見	7
1. 総括	7
2. 教育委員会の活動についての意見	7
3. 事務事業の点検・評価についての意見	7
IV. 点検・評価対象事業一覧	8
V. 点検評価の結果（事務事業点検・評価調書）	9

整理番号

1

 ～

36

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないこととなりました。また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律の改正を受け、朝日町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成 26 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施するとともに、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成 26 年度に実施した朝日町教育委員会所管の 36 事務事業のうち、36 事務事業を対象に実施しており、当該年度分としては 100%となっています。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点から分析評価したうえで、「事務事業点検・評価調書」としてまとめています。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3 名の学識経験者を外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただきました。

朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	山形大学大学院教育実践研究科 教授
熊 谷 昌 彦	有識者
長 岡 輝 美	有識者

Ⅱ. 平成 26 年度教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況

職	氏 名	住所	備考
委員長	小林 道和	朝日町大字四ノ沢 913	
委 員	児 珠 孝 童	朝日町大字立木 183	
委 員	鈴木 良子	朝日町大字宮宿 1026-6	
委 員	五十嵐 義一	朝日町大字玉ノ井乙 79	
教育長	安藤 昭 郎	朝日町大字宮宿 807-1	

2. 教育委員会会議開催状況

開催日		議案並びに主な報告・協議案件
平成 26 年 4 月 22 日	議案	議第 8 号 平成 26 年度朝日町就学指導委員会委員の委嘱について 議第 9 号 朝日町社会教育委員の委嘱について 議第 10 号 朝日町立中央公民館兼朝日町立中部公民館運営審議会委員、 朝日町立西部公民館運営審議会委員及び朝日町立北部公民館 運営審議会委員の委嘱について 議第 11 号 朝日町スポーツ推進委員の委嘱について 議第 12 号 朝日町自治公民館建築事業補助金交付規程の一部を改正する 規程について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①区域外就学の許可について ②平成 26 年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③平成 26 年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④平成 26 年度朝日町学校教育の方針について ⑤平成 26 年度朝日町教育研究所運営方針について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 平成 26 年度朝日町教育委員会の重点について 3. 教育委員研修会について
平成 26 年 5 月 28 日	報告	1. 教育長委任事項報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 26 年度西村山中学校駅伝競走大会結果について ②平成 26 年度小体連陸上競技記録会の結果について ③平成 25 年度分の朝日町教育振興計画目標値達成状況について ④平成 26 年度海の子山の子交流事業「海の集い」について ⑤山形県縦断駅伝競走大会について ⑥あさひ英語学習会について
平成 26 年 6 月 23 日	議案	議第 13 号 朝日町教育事務評価委員の委嘱について 議第 14 号 平成 26 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①平成 26 年度 N R T 検査結果について ②平成 26 年度西村山中学校総合体育大会結果について ③平成 26 年度朝日中学校職場体験受け入れ状況について ④第 17 回朝日町立小中学校児童生徒ひめさゆり俳句大会の実施に ついて ⑤町民プールの一般オープンについて

平成 26 年 7 月 23 日	議案	議第 15 号 平成 27 年度使用教科用図書採択について
	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①各種大会結果について ②教育研究所夏季研修会について ③就学指導委員会について ④6 月定例議会一般質問について
平成 26 年 8 月 27 日	議案	議第 16 号 平成 26 年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価（平成 25 年度分）について
	報告	1. 教育長委任事項（日程的な事項・当面の事項） 2. 報告事項 ①平成 26 年度朝日町一般会計第 3 回補正予算について ②平成 26 年度就学指導計画について ③各種大会の結果について
	協議	1. 全国学力テストについて 2. 平成 26 年度朝日町立小中学校運動会等への出席について
平成 26 年 9 月 24 日	議案	議第 17 号 朝日町教育委員会委員の議席の指定について
	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 26 年度 第 56 回県こども絵画展及び第 68 回県総合美術展（県美展）入賞・入選について ②平成 26 年度 全国学力・学習状況調査結果概況について
	選出	1. 朝日町教育委員会委員長の出選について 2. 朝日町教育委員会委員長職務代理者の選出について
平成 26 年 10 月 21 日	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①平成 26 年度 西村山中学校新人総合体育大会成績について ②第 31 回アップル町民駅伝競走大会結果について ③「第 17 回ひめさゆり俳句大会」入選結果について ④朝日町教育委員会指定研究 1 年次 公開授業研究会について ⑤第 50 回朝日町芸術文化祭について ⑥第 3 回管内教育長会議について
	協議	1. 意見交換 土曜授業について
平成 26 年 11 月 27 日	議案	議第 18 号 西村山地区視聴覚教育協議会の廃止について 議第 19 号 平成 26 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①平成 27 年度町実施計画策定基本方針について ②朝日町 P T A 連合会からの要望書について ③朝日町校長会からの要望について ④第 61 回西村山地区駅伝競走大会（11 月 9 日開催）結果について ⑤小中学校各種大会、コンクールの入賞、入選結果について ⑥「朝日町図書館まつり 2014」の開催について ⑦第 35 回女性まつりの開催について ⑧寄付採納について

平成 26 年 12 月 24 日	協議	議第 20 号 要保護及び準要保護児童・生徒の認定について
	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①朝日町 P T A 連合会からの要望書の回答について ②平成 26 年度朝日町小学校スキー記録会について ③平成 27 年度教育委員会予算要求（案）について ④芸術・文化関係入選結果について
平成 27 年 1 月 27 日	議案	議第 1 号 朝日町教育長の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例（案）について 議第 2 号 朝日町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例（案）について 議第 3 号 朝日町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例（案）について 議第 4 号 朝日町いじめ防止等対策推進条例（案）について 議第 5 号 教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する規則の設定について 議第 6 号 教育長の営利企業従事に関する規則の設定について 議第 7 号 朝日町教育委員会会議規則の全部改正する規則の制定について 議第 8 号 朝日町一般職の職員の給与に関する条例の施行に関する規則等の一部を改正する規則（案）について 議第 9 号 朝日町アイジー基金の設置・管理及び処分に関する条例施行規則の一部を改正する規則（案）について 議第 10 号 朝日町就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について 議第 11 号 朝日町スクールバス設置及び運行管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議第 12 号 朝日町教育委員会公印規程の一部を改正する規程等の制定について 議第 13 号 朝日町立小・中学校宿日直代行員服務規程を廃止する規程の制定について 議第 14 号 朝日町指定有形文化財の指定について
	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①平成 26 年度 生涯学習推進大会について
平成 27 年 2 月 25 日	議案	議第 16 号 朝日町教育委員会委員の辞職について 議第 17 号 朝日町教育委員会委員の辞職について
	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①平成 27 年度朝日町一般会計当初予算について ②平成 27 年度区域外就学の許可について ③平成 26 年度朝日町体育協会表彰受賞者について ④平成 26 年度朝日町小学校スキー記録会結果について
	協議	1. 朝日町立小中学校の平成 26 年度卒業式及び平成 27 年度入学式への参加について

平成 27 年 3 月 10 日	議案	議第 18 号 平成 27 年度朝日町立小・中学校教職員の人事異動内申について
平成 27 年 3 月 26 日	議案	議第 19 号 平成 27 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第 20 号 平成 27 年度朝日町立小・中学校の校医等の委嘱について 議第 21 号 朝日町被災児童生徒就学援助費支給要綱(案)について
	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 27 年度学校教員の異動について ②平成 26 年度朝日中学校卒業生進路先について ③平成 27 年度学級編成について ④区域外就学の許可について

3. 教育委員学校訪問

年 月 日	実 施 校	内 容
平成 26 年 6 月 2 日	朝日町立大谷小学校	①学校経営概要説明 ②授業参観並びに校舎等巡視 ③懇談 ④学校経営へのアドバイス
平成 26 年 6 月 17 日	朝日町立宮宿小学校	
平成 26 年 6 月 23 日	朝日町立朝日中学校	
平成 26 年 6 月 24 日	朝日町立西五百川小学校	

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 26 年 4 月 1 日	町辞令交付式	開発センター	委員長
平成 26 年 4 月 1 日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
平成 26 年 4 月 5 日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
平成 26 年 4 月 29 日	成人式	創遊館	全員
平成 26 年 5 月 2 日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
平成 26 年 5 月 20 日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	全員
平成 26 年 6 月 6 日	県市町村教育委員会協議会	山形市	委員長
平成 26 年 6 月 7 日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	委員長
平成 26 年 7 月 4 日	西村山市町教育委員会連絡協議会	大江町	全員
平成 26 年 7 月 10 日	小学校水泳競技記録会	町民プール	全員
平成 26 年 7 月 14 日	西村山地区教科書採択協議会	寒河江市	委員長
平成 26 年 8 月 8 日 ～9 日	山形県市町村教育委員大会 教育委員研修	上山市 高畠町	全員
平成 26 年 8 月 30 日	朝日中学校体育祭	朝日中	教育長

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 26 年 9 月 6 日	西小運動会	西小グラウンド	鈴木委員
平成 26 年 9 月 7 日	宮小運動会 大谷小運動会	宮小グラウンド 大谷小グラウンド	児玉委員 五十嵐委員
平成 26 年 10 月 7 日	朝日町青少年育成町民大会	創遊館	全員
平成 26 年 10 月 12 日	第 31 回アップル駅伝競走大会	町内	全員
平成 26 年 11 月 1 日	町制 60 周年記念式典	創遊館	全員
平成 26 年 11 月 3 日	芸術文化祭	創遊館	委員長
平成 26 年 11 月 21 日	寒河江高校高松分校閉校記念	高松分校	委員長
平成 26 年 12 月 20 日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	委員長
平成 27 年 1 月 5 日	町辞令交付式	開発センター	委員長
平成 27 年 2 月 4 日	小学校スキー記録会	自然観スキー場	全員
平成 27 年 2 月 22 日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
平成 27 年 3 月 15 日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
平成 27 年 3 月 18 日	各小学校卒業式	各小学校	割り当て
平成 27 年 3 月 31 日	町退職者辞令交付式	開発センター	委員長

Ⅲ. 外部評価委員の意見

1. 総括

全実施事業について丁寧に自己評価が行われていることから、教育委員会の組織体制はもとより、事務局員一人一人の事業遂行に対する前向きな姿勢を感じ取ることができる。今後も課題の改善に向けて、学校教育と生涯学習が連携協力し、より創造的な企画と事業の展開を期待する。

2. 教育委員会の活動について

各種会議や大会、学校行事、研修会などへの教育委員の参加に比べて、学校訪問は年1回（公開研のある学校は2回）と少ない。ふだんの学校や児童生徒の状況をより把握するために、校内研究授業の参観等、直接学校と児童生徒に関わる機会を増やすことも検討してほしい。

3. 事務事業の点検・評価について

概ね適切な評価をされているが、次の項目について検討し、更に創意工夫を重ねて事業の推進に当たってほしい。

（1）全体

- ①「事業の実施状況」については、いずれも具体的な数値を示しているなど詳細に記載されており、外部者から見ても分かりやすいものになっている。その中でも、前年度と比較できる数値であれば、増減等についても具体的に示すことでより分かりやすくなり、「評価と課題」や「改善と方向性」において、より客観的な評価に繋がる。
- ②「予算額・決算額」について、前年度比で大きく増減した事業については、事業の実施状況の対比や主な支出項目と支出額を明記するなど、理由付けとなる記載があるとより分かりやすくなる。
- ③「事業の評価と課題」について、一部、「～する必要がある。」「～していくことが重要である。」など、概念的で第三者的な表現になっている箇所が散見される。この評価はあくまでも事務局の自己評価であることから、「～することができた。」「～の達成は困難であった。」など、達成状況が外部者からも分かるように記載すべきである。
- ④この点検・評価の意義として、各事務事業が年度を跨いで発展的かつ継続的に実施されることをねらいの一つとしていると解することができる。翌年度に予算が増加したり、発展的に取り組むようになったりした事業があれば、「事業の改善と方向性」にその旨記載することで、事業の継続性がより明確になってくる。

（2）学校教育関係

遠距離通学への対応については、児童生徒数の減少に伴う防犯上の問題や事故、災害等への備えを考慮し安全に通学できるよう配慮してほしい。

（3）生涯学習関係

公民館が安全で利用しやすい環境を整えるうえで、年間利用者数の把握はもとより、有料利用者数及び無料利用者数の内訳や使用収益を明記することにより、施設管理における有用性がより理解できる。

Ⅳ. 点検・評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	3
教育研究所費	教育文化課学校教育係	4
廃校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校管理費	教育文化課学校教育係	6
中学校管理費	教育文化課学校教育係	7
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	8
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	10
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	11
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
英語指導助手招致事業	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	19
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	20
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	21
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	22
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	23
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	24
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	26
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	26
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	27
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	28
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	29
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	30
協働のまちづくり推進プロジェクト	教育文化課生涯学習係	31
図書館費	教育文化課生涯学習係	32
文化振興費	教育文化課生涯学習係	33
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	34
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	35
スポーツ振興基金運営費	教育文化課生涯学習係	36

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。 学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・教育委員 5人
- ・定例教育委員会 12回開催、臨時会 1回開催、附議事件 21件
- ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（大江町）7/4
- ・山形県市町村教育委員大会（上山市）8/8
- ・教育委員視察研修 置賜方面 8/8～9
- ・各校学校訪問 西小 6/24、宮宿小 6/17、大谷小 6/2、朝日中 6/23
- ・朝日中学校公開授業研究会 11/10
- ・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,321,000	決算額	1,191,838	差引額	129,162
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・先進地視察や他教育委員会との交流などにより、当面する様々な課題に関する情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、町の実情に即した課題を協議課題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。

課題：

学校教育関係：保小中連携、読書活動推進、英語・道徳の教科化など

生涯学習関係：生涯学習社会の実現の姿、人材育成事業など

6. 事業の改善と方向性

- ・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会事務局費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第五次朝日町総合発展計画及び朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・教育事務事業点検・評価（外部評価委員3名） 評価委員会3回開催、10月一般公開
- ・第17回小中学生ひめさゆり俳句大会（478名、1,031句）
- ・平成27年度入学児童（対象者58人）を対象に就学時健診（9/25）を実施
内科健診、眼科、耳鼻科、 歯科、聴力、視力、知能検査
- ・就学指導委員会を3回開催
- ・県費教職員健康診断（全員受診）
- ・生活キャンペーン・・・あさひ教育の日関連事業で実施（家庭でパチリ・地域でパチリ写真募集）
- ・スクールガードリーダー1名を配置し、パトロールを実施。（年間45日）
- ・教育委員会用公用車を更新（1,758,500円）
- ・臨時職員（事務補助）を1名配置

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	7,953,000	決算額	6,898,765	差引額	1,054,235
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・県の保小連携アドバイザー事業を活用するとともに、県推進事業である幼保小連携推進モデル開発プロジェクトに取り組んだことにより、保小連携の各種研修会を通じて、各関係機関の連携意識の高揚が図られた。
- ・朝日町教育振興計画が単なる計画にならないように、その実施計画の作成と目標値の管理を行っている。目標管理は数値目標を年度毎に定め、関係機関に対して公表しながら目標達成を促しており、毎年7月12月に実施している児童・生徒のアンケート調査では年度目標値をおおむね達成している。
- ・危機管理マニュアルの完成に伴い、校長会等での説明及び各学校に対して配付を行い周知の徹底を図った。

6. 事業の改善と方向性

- ・保小連携については、学校、保育園と協議し、平成27年度は3回の研修会を開催予定。引き続き県支援プロジェクトに取り組む予定。（保小中連携ということについても視野に入れて研修を進める。）
- ・就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。
- ・目標値の管理は施策の大きな目安となることから、継続して行い関係機関に周知する。
- ・いじめ防止対策の基本方針を策定する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会奨学金貸与事業費
-------	---------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・お知らせ板による周知（3月）
- ・奨学金貸与申請者の審査会 6/12日（新規貸与申請者9名）
- ・貸与者数30人 H26 貸与額12,560,000円
- ・返還者数46人 H26 返還請求金額6,577,250円
- ・滞納者数 4人 520,000円
- ・年度末基金残高 101,384,485円
うち 現金 26,378,735円
貸付金 75,005,750円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	25,130,000	決算額	18,534,250	差引額	6,595,750
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・貸与、返還業務については、ほぼ計画どおり処理できている。
- ・返還請求に対して、返還金が滞りつつある貸与者がある。
- ・滞納分納入に向けた取り組みが必要となっている。
- ・奨学生の管理や貸与・返還事務について、人数の増加や返済方法の柔軟化、滞納整理等により事務処理が複雑になっており、職員作成のエクセル管理では難しくなっている。
- ・平成25年度は、奨学金事業について朝日町育英会から朝日町への移管に伴い、奨学基金（約4千万円）を育英会からの寄付金として町で一度受入れ、それを返還金と合わせて改めて基金積立していることから、前年度と比較すると予算・決算額とも大きな減額となっている。

6. 事業の改善と方向性

- ・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。（月払い、半年附払い、年附払い）
- ・滞納が続く場合には、来庁依頼の通知及び自宅等への訪問を実施し返還請求を行う。
- ・次年度からの奨学金管理システム導入に向けて検討（実施計画への計上及び予算要求）していく。
- ・情報の管理については、引き続き、個人情報の漏えいなどが生じないよう十分なセキュリティ管理に留意していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

3. 事業の実施状況

- ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修
 課題研究部会（郷土学習部会 24 人、特別支援研究部会 12 人、情報教育部会 16 人）を 2 回開催
 校務研究部会（養護教諭部会 5 人・3 回開催、事務職員部会 5 人 4 回開催）
 学力向上委員会 10 人 年 2 回開催
 子育て生徒指導部会 22 人 年 3 回開催
 英語活動推進部会 7 人 年 2 回開催
 教育講演会 7/25 「子どもの可能性を引き出すために」 講師：村尾 隆介氏（朝日町ブランド化推進プロデューサー）
 町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/29 参加者 15 人（北東部）
- ・朝日町教育委員会指定研究校 朝日中学校 1 年次 委託費 10 万円 11/10 自主公開授業研を実施
- ・NRT 検査、知能検査（4 月）、CRT 検査（1 月）を公費負担で実施。
- ・教育研究所所報（第 17 号）を発刊（事業の経過を掲載）

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,503,000	決算額	1,204,724	差引額	298,276
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値をもとにしながら指導改善に取り組んでいる。また、学社連携を担う子育て生徒指導部会も他市町にはない取り組みであり、今後も継続していくことが重要である。
- ・授業力の向上のために、学校研究についての情報交換を行った。平成 26 年度より理科教育センターが廃止となったが、学力向上委員会のなかで、教職員の研修、情報交換について、継続して取り組んでいる。また、各校の取り組みについて情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。
- ・課題研究部会は、今の教育のニーズにあった研修内容で実施された。今後も時代に合った形で取り組んでいく必要がある。他市町にはない子育て生徒指導部会では、『『家族の絆を深める』～わが家の約束の実践を進めよう～』の推進をテーマとして、学校・PTA・保育園・公民館等での活動を積み上げなど情報交換することができた。「あさひ教育の日」の連動事業として、「家族や地域の写真募集」に対する応募も多く、周知の成果が表れている。

6. 事業の改善と方向性

- ・学力向上委員会で各校の学力向上対策が話し合われ、学校研究等、授業改善についての研修・情報交換を行い、担任力の向上にむけて今後も取り組んでいく。平成 27 年度も 2 回の委員会を実施予定。
- ・子育て生徒指導部会では、「あさひ教育の日」の活動との連動を図るため、テーマを見直す必要がある。平成 27 年度は、『『育てよう生きる力』～学校・家庭、地域がひとつになって育てよう～』にテーマを改め、特色ある地域活動に 重点をおいて活動を行っている。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設の適正な活用又は処分までの維持管理。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

- ・廃校（旧立木小、旧水本小、旧上郷小、旧大沼分校）の管理
維持費として、電気料 1,939,382 円、水道料 147,671 円、電話料 50,762 円
- 【現在の使用状況】
旧立木小（立木研修センター）：アトリエとして年間を通して 1 名、4 月～11 月まで 1 名が制作活動のため使用
旧水本小：朝日北の原食品が校舎の一部（調理室等）を使用
旧上郷小：使用なし
旧大沼分校：大沼公民館として使用
- ・立木研修センター及び旧立木小体育館屋根塗装工事 7,452,000 円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	9,389,000	決算額	9,654,075	差引額	-265,075
-----	-----------	-----	-----------	-----	----------

5. 事業の評価と課題

- ・旧小学校については、今後の利活用又は処分、取り壊し等の方向性とその時期を含め検討する必要がある。

6. 事業の改善と方向性

- ・廃校学校の活用・処分について、関係課と連携して対応していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検の実施や日常点検の実施
- ・ 光熱水費、通信運搬費について、月別状況を各校に配布し節電、節水等を指導
- ・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,536,000	決算額	17,941,773	差引額	2,594,227
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・ 各種点検を実施し、適正な管理ができた。
- ・ 光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等を呼びかけた。

6. 事業の改善と方向性

- ・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。
- ・ 節電、節水等を呼びかけたが、電気料金の値上げ等もあり前年度と比較すると増加となり、引き続き今後も周知徹底を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

3. 事業の実施状況

・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検の実施 ・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を配布し、節電・節水を指導 ・ 臨時職員（事務補助）を継続して1名配置
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,588,000	決算額	9,473,906	差引額	1,114,094
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

・ 各種点検を実施し、適正な管理ができた。 ・ 光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を報告し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより効果があった。
--

6. 事業の改善と方向性

・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。 ・ 節電、節水等の呼び掛けを今後も継続して実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・学校医 5 人、薬剤師 2 人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施
- ・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託
- ・学校での集団検診を実施
欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 7/7
- ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施
- ・学校保健委員会の開催 西小 6/17、宮小 7/11、大谷小 7/17

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,678,000	決算額	2,489,876	差引額	188,124
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・集団検診未受検者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の検診が終了できた。
- ・薬剤師の 1 名の方より、高齢に伴う辞退の申し出があり、後継者の選任等について検討する必要がある。
- ・学校薬剤師としてお願いできる方が少なく苦慮している。薬剤師の後継者について、平成 26 年度中に選任する予定だったが、現行の薬剤師に継続することとなり、後継者の選任には至らなかった。

6. 事業の改善と方向性

- ・未受検者については、早期に検診できるよう継続して対応を行う。
- ・引き続き薬剤師の後継者の選任等を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・学校医4人、薬剤師2人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施
- ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託
- ・学校での集団検診を実施
欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施 7/7
- ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施
- ・学校保健委員会の開催 7/9

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	1,369,000	決算額	1,257,005	差引額	111,995
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・集団検診未受検者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の検診が終了できた。
- ・学校薬剤師としてお願いできる方が少なく苦慮している。薬剤師の後継者について、平成26年度中に選任する予定だったが、現行の薬剤師に継続することとなり、後継者の選任には至らなかった。

6. 事業の改善と方向性

- ・未受検者については、早期に検診できるよう継続して対応を行う。
- ・引き続き、薬剤師の後継者の選任等を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

遠距離から通学している児童数 60 人 (19.4%) ・スクールバス 3 台運行 三中线 (12 人) 臨時職員、上郷線 (10 人) 業者委託、和合線 (21 人、内 15 人は往路は中学校スクールバス) 業者委託 ・スクールタクシー運行 (業者委託) 西小一立木 (復路のみ、往路は中学校スクールバス) 8 人、宮小一雪谷 (往復) 1 人、水本 (往復) 6 人、 大谷小一川通 (往復) 1 人 ・運行については、運転手と打合せを随時行い、安全運行を実施 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕を実施
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,864,000	決算額	9,076,481	差引額	1,787,519
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

・家庭、学校、教育委員会の連携のものと的確な運行を実施した。 ・スクールバスの安全運行のため、定期点検を適切に行っている。 ・遠距離通学児童の人数が毎年増減しているため、運行体制の編成に苦慮している。 ・近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ見直しが必要となっている。
--

6. 事業の改善と方向性

・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。 ・臨時職員に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。 ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。 ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を見直していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

3. 事業の実施状況

- ・遠距離から通学している生徒 83 人 (49.7%)
- ・スクールバス 3 台運行
立木線 (18 人) 臨時職員 (小学生と同乗)
松程線 (10 人、冬季間は能中・川通より 6 人) 臨時職員
大沼線 (8 人) 臨時職員 (うち下校時のみ 7 人／登校時は小学生と同乗)
上郷線 (9 人) 業者委託 (小学生と同乗)
和合線 (4 人) 業者委託 (小学生と同乗／下校は大沼線)
- ・山交バス (北部地区 35 人、大隅地区 1 人は冬季間のみ)
- ・運行については、運転手と打合せを随時行い、安全運行を実施
- ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕を実施
- ・スクールタクシー沢内線 (3 人：下校は大沼線)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	19,482,000	決算額	15,223,173	差引額	4,268,827
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・家庭、学校、教育委員会の連携のものと的確な運行を実施した。
- ・スクールバスの安全運行のため、定期点検を適切に行っている。
- ・遠距離通学児童の人数が毎年増減しているため、運行体制の編成に苦慮している。
- ・近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ見直しが必要となっている。

6. 事業の改善と方向性

- ・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。
- ・臨時職員に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。
- ・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。
- ・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を見直していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

・修繕関係

西小：高架タンク出水口漏水修理 101,520 円、2・3 階男子便所及び土間漏水修繕 810,000 円、
高架タンク出水口フレンジ交換 162,000 円、貯水タンク配水管修繕 98,280 円、フラッシュバルブ交換 54,000 円
宮宿小：ろ過装置修繕 479,520 円、理科室遮光カーテン、交換 255,960 円、トイレタイル補修 138,240 円
大谷小：水栓交換 90,936 円、誘導灯設備バッテリー交換 64,368 円
他、西五百川小学校・宮宿小学校・大谷小学校へ小規模修繕予算配当

・工事関係

西小：厨房室土間修繕 248,400 円、複式学級教室改修 1,458,000 円
宮宿小：食堂屋根補修 1,782,000 円、2・3 階転落防止柵設置 734,400 円、保健室仕切りカーテン設置 140,400 円
大谷小：体育館水銀ランプ交換 270,000 円

・備品購入 小学校教育用コンピュータ整備 16,254,000 円、AED769,500 円、宮宿小 FF 式石油温風機 702,000 円
大谷小校務用コンピュータ 197,856 円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	29,184,000	決算額	27,819,516	差引額	1,364,484
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・西五百川小学校校舎 (S54)、宮宿小学校校舎 (S55) は建築年が古く、老朽化が進み全面改修が必要となっている。
- ・夏季における暑さ対策として、エアコン設置についてその有無を含め協議が必要となっている。

6. 事業の改善と方向性

- ・西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎の改修については、町の実施計画 (3 年間) に計上し、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。(空調、油管、水道、排水等)
- ・当面の方向性としては、経費の抑制を考慮し、新築ではなく全面改修による施設の長寿命化を図っていく。
- ・引き続き安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

2. 事業の目的

事業の目的	授業等に支障をきたすことがないよう適切な施設の維持管理が図られ、安心して授業に取り組むことが出来る快適な学校教育環境を整備する。
-------	--

3. 事業の実施状況

・修繕関係 放送室換気扇修繕 723,600 円、武道館誘導灯修繕 32,832 円 ・委託料 グラウンド簡易トイレ維持管理 92,016 円 ・工事関係 污水配管改修工事 1,058,400 円、木工室屋根塗装工事 444,960 円、ピロティー照明器具交換 79,920 円 特別支援教室改修工事 4,428,000 円、木工室給水管漏水修繕工事 818,640 円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,885,000	決算額	9,278,130	差引額	606,870
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・校舎、体育館は平成 22 年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和 51 年と古く設備面を中心に老朽化が進んでいる。武道館の水まわりの改修は平成 24 年度で実施したが、屋根、外壁等の塗装・修繕が必要となっている。 ・屋外部活の部室が目の届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。 ・夏季における暑さ対策として、エアコン設置についてその有無を含め協議が必要となっている。
--

6. 事業の改善と方向性

・武道館の屋根、外壁等の塗装・修繕は町の実施計画（3 年間）に計上し実施していく。 ・社会解放用のトイレ設置と、屋外部室の改築についても町の実施計画（3 年間）に計上し整備する。 なお、屋外部室の管理については、改修されるまでの間、教職員による定期的な見回り等を実施し安全を確保する。 ・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい児等、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・小学校3、児童数310人【20クラス（内特支2クラス）】
- ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、各校 280,000円を上限に補助。（西小269,441円、宮小280,000円、大谷小280,000円）
- ・小体連陸上（5/20）・水泳記録会（7/10）【参加児童115人】
- ・海の子山の子交流事業 大谷小学校⇄宮城県七ヶ浜町立亦楽小学校。10/18山の集い（朝日町）
- ・各校の教材備品及び一般備品の購入 2,671,606円
- ・芸術鑑賞事業補助 100,000円
- ・準要保護対象者10人、特別支援教育就学奨励該当者3人
- ・学習生活指導員（宮小3人・大谷小1人）を配置

学習生活指導員（西小1名）、読書活動推進員（各校巡回1名）の配置 ※次年度への繰越事業 ⇒ H27 へ2,400千円

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	14,259,000	決算額	10,838,712	差引額	3,420,288
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・学習生活指導員を宮宿小学校に3人、大谷小学校に1人配置し、特別支援学級も含めきめ細かな学習指導の補助を行った。
- ・一人ひとりの実態に応じたきめ細かな学習指導を進めるため、特に低学年への対応を重視している。
- ・読書活動の推進を図るため、図書のデータ管理を全小学校で終了しており、今後はその管理と活用を適切に行うため朝日町子ども読書活動推進計画に沿った各種施策を着実に実施する必要がある。

6. 事業の改善と方向性

- ・引き続き学習生活指導員を配置し、一人ひとりの特性に対応していく。
- ・障がいを持つ児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の必要性について、同じ目線に立ち、理解と協力を得られるべく努力していく。
- ・少子化による複式学級の設置（西小）の状況を踏まえ、学習生活指導員を1名配置し、きめ細かな学習指導を進めていく。
- ・読書活動の推進を図るため読書活動推進員を1名配置し、各小学校を巡回しながら学校図書館の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい児等、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・朝日中学校 生徒数 167 人【8 クラス(内特支 1 クラス)】
- ・学力向上・特色ある学校づくり事業の実施に対し、上限額の 660,000 円を補助
- ・教材備品及び一般備品の購入 1,190,895 円
- ・県大会、東北大会、全国大会派遣 1,284,000 円
- ・部活動補助 600,000 円
- ・芸術鑑賞事業補助金額 200,000 円
- ・準要保護対象者 9 人
- ・特別支援学級奨励対象者 2 人
- ・学習生活指導員（町費 2 人）の配置
- ・スクールカウンセラー（県費 2 名）の配置

学習生活指導員（1 名）の配置 ※次年度への繰越事業 ⇒ H27 へ 1,200 千円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	15,387,000	決算額	13,397,869	差引額	1,989,131
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・学校から要望のあった各種備品等を年度当初に購入し、授業での活用により、生徒の学習意欲の向上が図られた。
- ・学習生活指導補助員を 2 人配置し、きめ細かな学習指導を行った。
- ・中学校の上には高校や大学の進学が待っており、不登校や保健室登校といわれる子どもたちを一人でも減らしていかなければならない。
- ・県大会、東北大会、全国大会への派遣補助に係る補助率を引き上げたことにより、生徒の意欲向上と保護者等の負担軽減を図ることができた。

6. 事業の改善と方向性

- ・引き続き学習生活指導補助員の配置をしていく。
- ・不登校等の子どもたちには県のスクールカウンセラー事業をとおして、一刻も早い学校生活への復帰を促していく。
- ・中学校についても読書活動推進員を配置し、朝日町子ども読書活動推進計画に沿った事業を展開していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	英語指導助手招致事業
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

3. 事業の実施状況

- ・平成 23 年度から小学校学習指導要領が改訂、平成 24 年度から中学校指導要領が改訂され、理数系のほか語学が強化されることとなり、特に小学校 5・6 年は必修領域英語活動となったことから、従来の J E T 利用の A L T では不安要素が大きく、町単独で英語指導助手を招致（現契約期間は平成 28 年 3 月まで）
- ・現在の英語指導助手はアメリカの伝統行事による異文化体験を企画実施し、国際交流の進展にも寄与

【実施事業】

アメリカン BBQ 7/5（小学生 17 名参加）
ハロウィン 10/19（小学生 39 名参加）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,886,000	決算額	4,811,128	差引額	74,872
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

- ・A L T（外国語指導助手）として来日以来 11 年間の実績を活用し、適切な指導を行っている。
- ・子どもたちにも人気があり日本の風土にもなじんでおり、小学生を対象とした国際交流事業が認知されはじめ、参加する子どもの人数も増加傾向にある。
- ・現在の英語指導助手の契約は平成 28 年 3 月までとなっているが、本人の意向も確認し継続して契約を更新する方向で検討が進んでいる。

6. 事業の改善と方向性

- ・今後も継続して、現在の英語指導助手を採用し、英語活動や英語教育の充実と改善を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等
- ・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日 給食の食材は保護者負担 1 食 265 円
- ・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類
- ・献立作成会議 4 ヶ月に 1 回開催
- ・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催(調理師全員参加)
- ・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供
- ・食物アレルギー対策として、個別に対応した給食を提供(西小 1 名、宮小 0 名、大谷小 1 名)(除去・代替えによる対応)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,654,000	決算額	3,148,298	差引額	505,702
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・1 件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供した。
- ・行財政改革では学校給食の民間委託の方針が打ち出されたが、十分な準備と協議が必要である。
- ・食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。
- ・保護者負担の食材費について、消費税率の引上げや物価の高騰により見直しが必要であることから検討を実施した。

6. 事業の改善と方向性

- ・民間委託の導入についても検討するが、当面は直営での給食を行っていく。
- ・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。
- ・保護者負担の食材費を平成 27 年度より 1 食単価 280 円(15 円増)とすることとした。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

3. 事業の実施状況

・(有)地球耕望に副食給食を委託 11,880,000 円 (複数年契約) ・給食の食材は保護者負担 食材 1 食 210 円 ・食物アレルギー対策として、個別に対応した給食を提供 (1 名) H27 (0 人) (除去による対応)
--

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	11,907,000	決算額	11,903,863	差引額	3,137
-----	------------	-----	------------	-----	-------

5. 事業の評価と課題

・1 件の事故もなく、バランスのとれた副食給食を提供した。 ・食物アレルギー対策について、検討する必要がある。
--

6. 事業の改善と方向性

・学校給食の提供にあたり、給食センター方式や自校給食又は業務委託があるが、当面は業務委託による副食給食方式を継続し、委託先の状況に応じて他の方式にも切り替えられるよう柔軟に対応していく。 ・食物アレルギー対策として、小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を給食に反映させる。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

3. 事業の実施状況

- ・社会教育委員 7 人（男 5 人、女 2 人）
- ・社会教育委員会の開催（5/29、2/17）

朝日町社会教育の課題

（1）女性の社会参画の在り方（2）子ども・若者の地域活動参画の在り方（3）社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り（4）文化財の保護と活用（5）施設の維持管理と長寿命化

課題に対応するための重点取り組み

（1）人材育成事業の推進（2）地域社会による子育て、社会教育の推進（3）町民参画による自主講座開設の育成支援（4）町政 60 周年、芸文協 50 周年事業による芸術文化活動の活性化（5）名勝「大沼の浮島」、旧三中分校の保存整備計画の策定及び歴史や文化財に関する啓発活動等（6）アップル町民駅伝競走大会の継続

- ・山形県社会教育研究大会 10/10 3 名参加（長井市）
- ・社会教育機関負担金支出（社教連、県社教大会、山響）
- ・社会教育団体活動補助金支出(子ども会連絡協議会 199,000 円)

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	509,000	決算額	484,180	差引額	24,820
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

- ・社会教育委員会の開催は計画に沿って開催している。
- ・社会教育委員会は、事業計画及び実施状況の確認等、適正に助言しているが、時代の変化に合わせて社会教育に対する課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行った。

6. 事業の改善と方向性

- ・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町社会教育に反映させる。
- ・社会教育委員会の中で、テーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

・委員 4人(5人以内) ・会議 (6/20、12/17) ・文化財保護委員視察研修 (8/4～5 岩手県遠野市、宮城県登米市) ・文化財保護委員文化財訪問調査 (12/17) ・指定文化財保護事業費補助金 - 佐竹家住宅管理費補助 95,000 円 - 水口十一面観音堂管理費補助 150,000 円 - 大沼の浮島整備補助 (案内看板設計業務、歩道改修工事、周辺集水範囲植生分布調査、水理水質調査、保存整備委員会等国庫補助事業) 1,861,000 円 - ハツ沼角田流獅子踊伝承補助 100,000 円 ・旧西五百川小学校三小分校保存整備検討委員会の開催 (3回) ・旧三小分校施設管理委託 (ハツ沼区) 100,000 円 ・文化財等保護調査 (ハツチョウトンボ、旧三小分校基礎調査、水口木造十一面観音立像)

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	4,016,000	決算額	3,120,850	差引額	895,150
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・大沼の浮島整備については、国庫補助事業を活用し整備、調査を進めている。町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行っている。 ・大沼の浮島については、水量減少、水質低下、ナラ枯れ等が発生しており対策が必要。 ・県指定有形文化財「旧三小分校」は、地域の宝として保存整備と活用を検討するため委員会を設置し、3回の検討会を実施した。 ・地域の宝を守り伝えていく心を醸成していくために、文化財マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を推進している。

6. 事業の改善と方向性

・大沼浮島保存整備委員会を設置し、水量の減少等の原因を究明するとともに、問題を解決するため、保存整備計画を策定し、国庫補助等により整備を促進する。 ・旧三小分校については、基礎調査や保存整備委員会を行い、保存整備、活用について、計画書を策定し、県単補助等により整備を促進する。 ・地域の宝を守り伝えていく心を醸成していくために、マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を今後も推進し、公民館連絡協議会や区長会等において、周知を図る。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

・町史編さん専門員 2 人を配置 ・町史関係資料収集 ・町史及び町史資料頒布 ・文化財保護、民具の利活用等 ・朝日町郷土史研究会 ・ふるさと歴史教室の実施
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,973,000	決算額	2,680,041	差引額	292,959
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・町史編さん専門員 2 名の配置により、町史関係資料の収集が可能となっている。 ・町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や資料が減少する前に調査する必要がある。 古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料を頒布している。
--

6. 事業の改善と方向性

・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。(平成 27 年度に第 33 号を発行予定) ・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査の体制を整備する。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・青少年育成町民会議(委員 22 人)
総会 7/23
青少年育成町民大会 10/7 200 人 (あさひ教育の日との連携事業)
講演「育てよう生きる力～私たちがすべきこと～」
講師 社会教育・生涯学習研究者 三浦 清一郎 氏
- ・青少年育成推進員活動(委員 7 人) 会議、青少年事業への活動補助
- ・青少年指導センター(委員 21 人) 街頭指導 10 回、研修会、会議

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	320,000	決算額	183,796	差引額	136,204
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・青少年の健全育成を推進する団体が協力し合い、青少年育成町民大会を開催し、町民に青少年の健全育成についての共通目標を周知し、社会教育・生涯学習研究者である三浦先生を講師に講演会を行い、現在の子どもの抱える問題や解決策についての役割等について確認した。
- ・青少年育成町民大会をあさひ教育の日推進事業と連携して行ったことにより、事業費を削減することができた。
- ・街頭指導について、時間を早め、人が多くいるような巡回時間(21時から20時に変更)したが、特に目立った事項は見当たらなかった。
- ・青少年の健全育成についての課題・問題が、単純な目に見える非行への対応からいじめの対応や「生きる力」を育む対応へ変わってきている。

6. 事業の改善と方向性

- ・課題・問題の変化に対応するため「青少年育成町民会議」の在り方や「青少年育成町民大会」の開催内容について見直しを実施する。
- ・あさひ教育の日推進事業など学社連携により、問題へ対応していく。
- ・街頭指導について、巡回時間は、今後とも20時で様子を見ていく。青少年指導センターが見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

・改修工事補助金交付 3件 宮宿、下芦沢、常盤公民館 事業費 2,577,734 円 補助金 848,000 円 (宮宿、常盤 30%、下芦沢 40%以内) ・次年度以降の新築・改修相談(杉山、栄町 2件)
--

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	1,000,000	決算額	848,000	差引額	152,000
-----	-----------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・自治公民館の整備に関する相談に応じて支援している。 ・地区の状況を考慮し、補助交付等対応することができた。 ・昭和時代に建築された自治公民館が多く老朽化が進み、改修や改築等が必要な公民館が多くなってきている。一方、利用者となる各区の世帯数や子どもが減少している。
--

6. 事業の改善と方向性

・各地区公民館の要望に対し、自治公民館建築事業補助金交付規程により計画的に支援を行う。 ・「高齢者・障がい者にやさしい避難所の環境整備事業」と連携し推進する。 ・自治公民館連絡協議会等を通じ、公民館活動の活性化を促し、活動の場となる公民館の改修について、計画性を持ったものとなるように各地区区長及び公民館長に説明していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	--------------------------------------

3. 事業の実施状況

- ・中央兼中部公民館運営審議会 5/28、2/17
- ・家庭教育
 - 中央公民館事業…やまがた子育て講座（西小 75 人、宮小 100 人、大谷小 65 人、朝日中 380 人）
 - あさひ家庭教育学級（対象：あさひ保育園ほか 4 回 約 550 人）
- ・青少年教育
 - 中央公民館事業…わくわく体験教室 7 人（酒田市飛島）、成人式：4/29 参加者 72 人
 - ボランティア育成（中学生…きらり、高校生…JOKER：ふれあい育児体験、ふれあい荘夏祭等）
 - 中部公民館事業…子ども会育成事業（第 22 回綱引き大会 3/21 248 人）
 - 中部キッズクラブ（2/11「冬まっさかり！雪を楽しもう！」講師 峯田重幸氏 18 人）
- ・女性教育
 - 中央公民館事業…女性文化教室 11 教室 9 回 参加者 201 人、女性まつり 12/14 160 人
- ・成人教育
 - 中央公民館事業…朝日町ふるさと歴史教室 5 回開催 受講生 19 人、朝日町子ども会育成会研修会 3/8 第 27 回生涯学習推進大会 2/22 274 人
- ・自治公民館
 - 中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修（山形県遊佐町）10/6 参加者 44 人、館報づくり研修会 10/22 16 人
 - 公民館報発行奨励金交付事業 14 館、自治公民館研修会等共催支援事業 2 館、
 - 中部公民館事業…自治公民館長・主事研修 8/7 39 人
- ・高齢者教育
 - 中央公民館事業…高齢者大学代表者会議 2/24
 - 中部公民館事業…寿大学（講話等 3 回、社会見学 1 回 353 人）
- ・視聴覚教育
 - 中央公民館事業…西村山視聴覚教育協議会（巡回ビデオ貸出、巡回映写、教材コンクール）3 月 31 日解散

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	2,188,000	決算額	1,226,726	差引額	961,274
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・常に時代や町民ニーズに合った事業展開を行うよう努めている。
- ・固定された参加者が多くなり、新たな参加者を増やしていく必要がある。
- ・新たな女性組織の一つとなる女性文化教室の活動支援を行った

6. 事業の改善と方向性

- ・各事業の町民ニーズを把握し、参加者数が少ない事業や西北公民館と連携して実施できそうな事業もあり、スクラップ＆ビルドにより参加しやすい事業を検討していく。
- ・今後も女性文化教室などを中心に各種公民館事業の支援を通し、女性の声を吸い上げ、NPOやボランティア団体など「志縁組織」分野の新たな女性組織を立ち上げていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会 (6/11、3/24)
- ・家庭教育…あさひ家庭教育学級(西部地区) 1回 55人
- ・青少年教育…いもがわ少年教室 4回 80人、子ども会交流事業 2回 179人、青年教室 2回 80人、楽笑楽生こうざ(女性) 5回 98人
- ・成年教育…成人講座「陶芸教室」 2回 36人、チャリティーグラウンドゴルフ大会 11/3 参加者 37人、自治公民館長主事研修会 6/22 36人、第21回西部地区スポーツフェスティバル 8/24 632人参加(ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ソフトバレーボール、輪投げ)
- ・高齢者教育…高齢者教室(高砂大学) 4回 110人、高齢者スポーツ交流(輪投げ) 2/20 参加者 48人
- ・第50回町芸術文化祭展示発表会 11/2～3 450人(来場者)
- ・「西部公民館だより」発行 5回
- ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当

4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	530,000	決算額	438,169	差引額	91,831
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価と課題

- ・「楽笑楽生こうざ」や高砂大学など、教養の向上の効果だけでなく、参加者同士の語らいが楽しいと好評を得ている。
- ・参加者が固定してきており、新規の参加者を増やすため、周知方法等を検討する必要がある。

6. 事業の改善と方向性

- ・公民館事業のお知らせを、「西部公民館だより」や「お知らせ板」「町ホームページ」への情報の掲載や、チラシの配布で行ってきたが、今後も積極的な情報の発信に努める。
- ・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、継続実施し地区民の交流を促進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会（5/28、3/13）
- ・家庭教育…あさひ家庭教育学級（北部地区）1回 23人
- ・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員 15人、達人クラブ 23人
（里山探検、つり大会、芋煮会、冬キャンプ等 8回）
延べ隊員 82人 延べ達人 84人参加、
子ども会育成会事業「交通安全教室」 29人 「ニュースポーツ大会」 23人
- ・高齢者教育…睦大学 4回 347人
- ・成年教育…自治公民館館長主事研修 1回 28人、女性教室 1教室(3回) 54人
第10回北部地区レクリエーション大会 9/14（グラウンドゴルフ、ソフトボール、ビーチボールバレー、輪投げ）
500人
- ・第50回朝日町芸術文化祭展示発表会 11/2～3 300人（来場者）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	456,000	決算額	302,412	差引額	153,588
-----	---------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・青少年の事業として、「ドキドキ探検隊」を行っている。野外活動がメインなので、活発な子ども達が集まっている。日頃できない体験が出来て毎年好評を得ている。
- ・高齢者の事業として、「睦大学」を行っている。向学心や探究心も衰えず、会員同士の交流も申込みの要因になっている。
- ・会員制の事業については、会員が固定化してきているので、いかに幅広く人を集めるかが課題である。

6. 事業の改善と方向性

- ・事業の内容を見直し、婦人層、青年層の事業、さらに世代間交流を充実し、事業参加者数の増加を図る。
- ・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館が他の地区との交流の場となっており、継続する。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

- ・管理、各種設備、機器等の委託
夜間休日管理（シルバー人材センター）2,083,200 円、清掃業務（㈱山形ビルサービス）2,953,638 円、エレベーター点検（アクア㈱）61,560 円、空調設備（弘栄設備工業㈱）1,587,600 円、ホール管理（ADAPT今井信一）1,564,000 円、自動ドア（ナブコシステム㈱）138,240 円、舞台装置（カヤバシステムマシナリー㈱）486,000 円ほか
- ・修繕
西側非常口誘導灯交換 126,360 円、西側排水ポンプ交換工事 167,076 円、非常灯用内蔵型蓄電池交換工事 124,200 円、ホール照明工事 138,240 円、事務所系統室外機修理 313,200 円、通信モジュール交換 470,880 円、ネットワークコントローラー及びメモリ保護用バッテリー交換修理 226,800 円、ほか
- ・芝生広場の管理ほか
- ・創遊館の貸出 H26 年度 利用団体 1,650 件、利用人数 24,258 人（H25 年度 利用団体 1,730 件、利用人数 25,349 人）

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	22,744,000	決算額	21,123,780	差引額	1,620,220
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

- ・創遊館の建設から 15 年を経過し、各機器等の不具合が出てきているため、修繕の緊急性の高いものから整備している。
- ・電子機器の経年劣化による不具合が生じ始めており、計画的な交換が必要となっている。

6. 事業の改善と方向性

- ・創遊館前面の舗装等、経年劣化による不具合箇所については、利用者の安全性に配慮し計画的に補修・修繕等を行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成7年11月完成）の5施設の管理 ・屋内施設：随時の清掃、維持 ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや庭木剪定を、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。 ・年間利用者：H26年度 西部公民館 3,016人、健康増進センター 2,827人、西部地区総合運動場 2,487人、熊ノ山農村公園 4,884人、計 13,214人 (H25年度 西部公民館 2,714人、健康増進センター 3,071人、西部地区総合運動場 2,544人、熊ノ山農村公園 5,412人、計 13,741人) ・除雪機購入 739,800円 ・西部公民館排水施設修繕工事 425,520円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,536,000	決算額	4,840,861	差引額	695,139
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。特に、施設の特徴となっている熊ノ山農村公園（グラウンドゴルフ場）の利用が多い。
--

6. 事業の改善と方向性

・施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に改修整備し、安全安心な利用しやすい環境をつくっていく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

3. 事業の実施状況

- ・秋葉山交遊館・芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和59年完成）
- ・屋内施設：随時の清掃、維持
- ・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲い等は、シルバー人材センター等に委託（191,305円）。
- ・利用者数：H26年度 交遊館 6,105人、体験館 336人、多目的広場 1,966人、北部体育館 1,550人、秋葉山グラウンド 1,572人、合計 11,529人
(H25年度 交遊館 5,814人、体験館 453人、多目的広場 1,677人、北部体育館 1,564人、秋葉山グラウンド 84人、合計 9,592人)
- ・女子トイレ洋式化工事 委託 388,800円 工事 2,160,000円

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,839,000	決算額	5,852,197	差引額	986,803
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。
- ・木製の遊具やテニスコートなど、幼児、子供達が利用している。

6. 事業の改善と方向性

- ・施設完成から20年目を迎え、老朽化が急激に加速している。緊急性の高いものから修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持できるよう今後とも務める。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

・放課後子ども教室推進事業の実施 きらきらスクール(宮小)コーディネーター 1 名配置 自由あそび 132 日 きらきら教室 9 回 ・のびのびスクール(西小)4 回→西部公民館事業 (いもがわ少年教室) ・どきどきスクール(大谷小)9 回→北部公民館事業 (ドキドキ探検隊)

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	1,457,000	決算額	928,453	差引額	528,547
-----	-----------	-----	---------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・少子化により地域の中の子どもの交流が少なくなる中、宮宿小学校に見守り員を配置し、放課後の安全な居場所づくりを行い、子どもの交流の促進が図られた。 ・週 5 日、2 人体制での見守りのため、見守り員の人数を 20 人以上で維持する必要がある。
--

6. 事業の改善と方向性

・コーディネーターを中心に、見守り員の人数確保に向け周知・啓発活動を行う。 見守り員: H26 21 名、H27 24 名 ・放課後の自由遊びについて、その他の小学校での必要性を調査し、必要に応じて実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	協働のまちづくり推進プロジェクト
-------	------------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

- ◆「New アクション応援事業」の実施 応募団体 4 団体
- ・朝日グラウンドワーク研究会 代表 佐藤欣治氏（18 人） 補助金 329,319 円
冬場のにぎわいの創出・神風船まつり（2 月）参加者 300 人、視察研修等
 - ・朝日町ボランティアの会 代表 鈴木貞夫氏（67 人） 補助金 350,000 円
東日本大震災被災地復興支援（宮城県七ヶ浜町）、福島県被災者親子の心のケア支援、町内小学校通学路の除排雪ボランティア、高齢者施設の草刈り等
 - ・りんごチャンネル 代表 遠藤大輔氏（4 人） 補助金 0 円（前年からの事業を継続的活動し、経費は不要となった。）
移住者による、朝日町への移住希望者へ向けた情報提供などの活動、ホームページの開設等
 - ・朝日町有志会 代表 今井一彦氏（19 人） 補助金 350,000 円
不要になったりんごの木を薪やチップにし再利用する
- ◆「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」へ高校生を派遣
7 月 25 日～8 月 7 日 14 日間 2 名（男子 1 名、女子 1 名）受講
交通費、参加費の 1/2 補助（上限 100,000 円） 補助金 100,000 円×2 名

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,401,000	決算額	1,229,319	差引額	171,681
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・4 年目の事業であったが、継続応募 3 グループ、新規応募 1 グループに助成を行った。どのグループも町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの学習、活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。
- ・本事業は、3 年まで継続事業についての支援としており、3 年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付加しさらなる継続を可能とした。
- ・「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」に参加した 2 名の学びを高校生や次世代全体へ広がるような場を設けていく必要がある。

6. 事業の改善と方向性

- ・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、呼びかけや効果的な PR を行う。
- ・今後も支援団体の状況を見ながら、「New アクション応援事業」として必要な支援を実施していく。
- ・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」へ高校生を派遣するとともに、中学生や高校生を対象とした発表の場を設けていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

・町立図書館管理運営 創遊会へ業務委託 3,379,320 円 ・利用登録者 3,956 人、うち町外 476 人 ・1 日平均貸出 62 冊、1 日平均利用者数 25 人 ・図書資料収集…(蔵書数 39,880 冊/H26 末) ・あさひまち図書館まつり 2014 11/23～12/7 おはなし会「ぶなの実」40 周年記念展示（ギャラリー）、11/29 クリスマスリースを作ろう 26 人、12/6 クリスマス子どものつどい 72 人、12/14 古本プレゼント 246 冊 ・蔵書点検 11/4～9 ・移動図書事業 5 月～2 月 大谷小(8 回 月 1 回) 利用児童数 81 人 ・団体貸出 2 団体 りんごっこクラブ(年 11 回 550 冊)、あさひ保育園 (年 10 回 200 冊) ・ブックスタート事業(年 6 回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ 35 人 ・おはなし会事業 5 月～3 月(毎月第 2 土曜) 10 回 おはなし会「ぶなの実」と共催 ・ブックテーマコーナー開設(毎月) 月毎に本の紹介 H26 年 5 月よりブランド図書コーナー設置 ・子育て支援コーナー開設 ・図書館情報システムの更新 (株)YCC 情報システム 月額リース料 105,000 円
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,432,000	決算額	6,180,276	差引額	251,724
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・図書館の利用者数を増やしていくため、毎月ブックテーマの設定、おはなし会、図書館まつり等を実施している。 ・幼児期から本に親しんでもらうためのブックスタートでの絵本の贈呈等、地道な活動を展開している。 ・図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。 ・移動図書事業により、子どもの図書に親しまれる機会が充実された。
--

6. 事業の改善と方向性

・図書館の利用促進のため、新刊の選本の吟味と夏休み等の子ども達の図書館利用に工夫を凝らす。 ・上部組織と連携した職員の研修会に参加し、資質の向上を図る。 ・学校の図書室との情報交換等連携を図り、移動図書事業をより充実していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

・第40回寒河江・西村山女声コーラス交歓会（10/4 河北町サハトベに花） ・第50回芸術文化祭 町芸術文化協議会支援(33 団体、2 個人) 11/1～3 第50回芸術文化祭 11/3 移動芸能発表(上郷公) ・「美の探訪」11/15 宮城県仙台市・七ヶ浜方面 17 人 ・ホール事業 7/19 七ヶ浜国際村ミュージカルカンパニーNaNa5931 ミュージカル「ゴーへ」 昼250人、夜300人 ・創遊館展示（ギャラリー） あとリエマサトと図工の時間成果展（4/22～5/11）、朝日中学校美術作品展示（10/7～10/26）、芸文祭展示（11/1～16）、おはなし会ぶなの実40周年記念展示会（11/23～12/7）、女性まつり作品展示（12/12～21） ・オペラの町づくり事業 6/1 今井倭子50周年記念コンサート 400人（一般町民） 今井倭子オペラコンサート（中学校演劇鑑賞会）※次年度への繰越事業 ⇒ H27 へ1,050千円
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	5,700,000	決算額	4,177,503	差引額	1,522,497
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

5. 事業の評価と課題

・ホール事業については、本物の文化に触れてもらう機会として、七ヶ浜国際村ミュージカルカンパニーNaNa5931 によるミュージカル「ゴーへ」を上演した。 ・オペラの町づくり事業については、今井倭子氏による50周年記念コンサートを開催した。 ・ホール事業の運営については、単年度での運営が難しいため「チケット販売、アーティストの依頼時期、ニーズ把握」等を町民参画で検討する必要がある。 ・ギャラリーの利用日数が減少している。
--

6. 事業の改善と方向性

・ホール事業の運営に関して、先進的取り組みの類似施設の運営方法等について、平成27年度視察研修を行う。 ・ギャラリーの運営についても他市町の取組みや運営アドバイザー等の設置について調査し、平成28年度に一部試行予定。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

3. 事業の実施状況

・スポーツ推進委員活動(委員 8 人) ・町民登山、町民グラウンドゴルフ大会など町体育協会主催の各種大会への支援 (体育協会加盟団体 16 団体 会員数 574 人) ・第 31 回アップル町民駅伝競争大会の開催 11 チーム参加、宮宿 A チームが優勝 ・県縦断駅伝ほか蔵王坊平 J r 駅伝競走大会・クロスカントリー大会、西村山地区駅伝競走大会への支援、モンテディオ 応援バス借上げ補助 ほか ・朝日町総合型スポーツクラブ運営事業への支援 (8 教室 会員数 130 人) ・朝日町スポーツ少年団への支援 (9 団体 団員数 127 人) ・各種スポーツ大会開催等の情報提供

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,518,000	決算額	2,395,858	差引額	122,142
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・町民が生涯スポーツ活動に取り組める環境を整えるため、スポーツ推進委員を配置し体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援を行い、町民一人 1 スポーツ、生涯スポーツの町づくりに取り組んだ。
--

6. 事業の改善と方向性

・一人 1 スポーツ、生涯スポーツで健康づくりを目指した取り組みを継続して行う。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

・町民体育館の管理委託（朝日町シルバー人材センター）1,463,700 円 一般利用人数：9,411 人（H25 7,215 人）、他中体連、新人戦強化練習にて使用 ・緑が丘公園町民プール（東京美装興業㈱）3,208,680 円 利用数 2,420 人（H25 3,001 人） ・夜間照明等（管理業務委嘱） 中学校及び朝日町野球連盟、Jr マラソンクラブ利用
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	9,767,000	決算額	9,143,483	差引額	623,517
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

・各体育施設の利用者の増減 町民体育館 耐震化等施設整備が進んだことにより増加した。 町民プール 夏季最盛期の天候の影響により利用者が減少した。 夜間照明 野球チームの利用者の減少はあったものの、Jr マラソンクラブの利用者は増加した。 ・常に安全な施設管理を行うように努め、町民のスポーツ活動支援に寄与した。
--

6. 事業の改善と方向性

・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備していく。
--

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	スポーツ振興基金運営費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	03	スポーツ振興基金運営費

2. 事業の目的

事業の目的	町民の自主的なスポーツ活動を支援する。
-------	---------------------

3. 事業の実施状況

○基金の運用状況

25年度末現在高 18,563 千円

26年度取崩し額 1,000 千円

26年度末現在高 17,563 千円

- ・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付(個人 11 件、団体 3 件) 270,000 円
- ・アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援 275,000 円
- ・町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 930,000 円
- ・総合型地域スポーツクラブ(朝日ふれあいスポーツクラブ) 運営支援 補助金 1,069,780 円
- ・スポーツ少年団の育成 補助金 180,000 円

4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	3,082,000	決算額	2,728,318	差引額	353,682
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価と課題

- ・各種スポーツ団体への支援と、各種大会運営に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めた。
- ・朝日ふれあいスポーツクラブの自立に向けた育成と支援について、クラブ側と調整を図りながら検討した。
- ・基金財源として、一般町民の寄付金、約 17,000 千円と町から約 17,000 千円で基金とした。近年、スポーツ振興基金の取り崩しを行い、事業展開を行っているが、町の出資分が間もなく使い切ることとなる。

6. 事業の改善と方向性

- ・各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。
- ・朝日ふれあいスポーツクラブの自立に向け、toto(スポーツ振興くじ)の助成を活用し、支援していく。
- ・スポーツ振興基金の継続方法について、他市町の動向を調査し、基金の積み増しによる継続や一般会計予算化による対応などを関係者と協議していく。

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成 26 年度分）

平成 27 年 8 月

朝日町教育委員会 教育文化課

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

TEL 0237-67-3302

FAX 0237-67-3375

Email kyoiku@town.asahi.yamagata.jp

kanri@town.asahi.yamagata.jp
